

2011年度 業績のご報告



株式会社アイフィスジャパン



2012/2/1



計画

【連結】

売上高 2,500百万円(2,700百万円)

経常利益 180百万円(170百万円)

当期純利益 110百万円(105百万円)

【個別】

売上高 2,000百万円(2,150百万円)

経常利益 135百万円(125百万円)

当期純利益 70百万円(65百万円)

【利益配当】

1株当たり 500円

実績

【連結】

売上高 2,446百万円 (計画比 -2.2%)

経常利益 181百万円 (計画比 +0.6%)

当期純利益 124百万円 (計画比+12.8%)

【個別】

売上高 1,892百万円 (計画比 -5.4%)

経常利益 125百万円 (計画比 -6.9%)

当期純利益 67百万円 (計画比 -3.3%)

【利益配当】

1株当たり 600円

計画値は2011年7月29日に修正しており、()内の値は2011年1月28日に公表した期初の目標数値です。

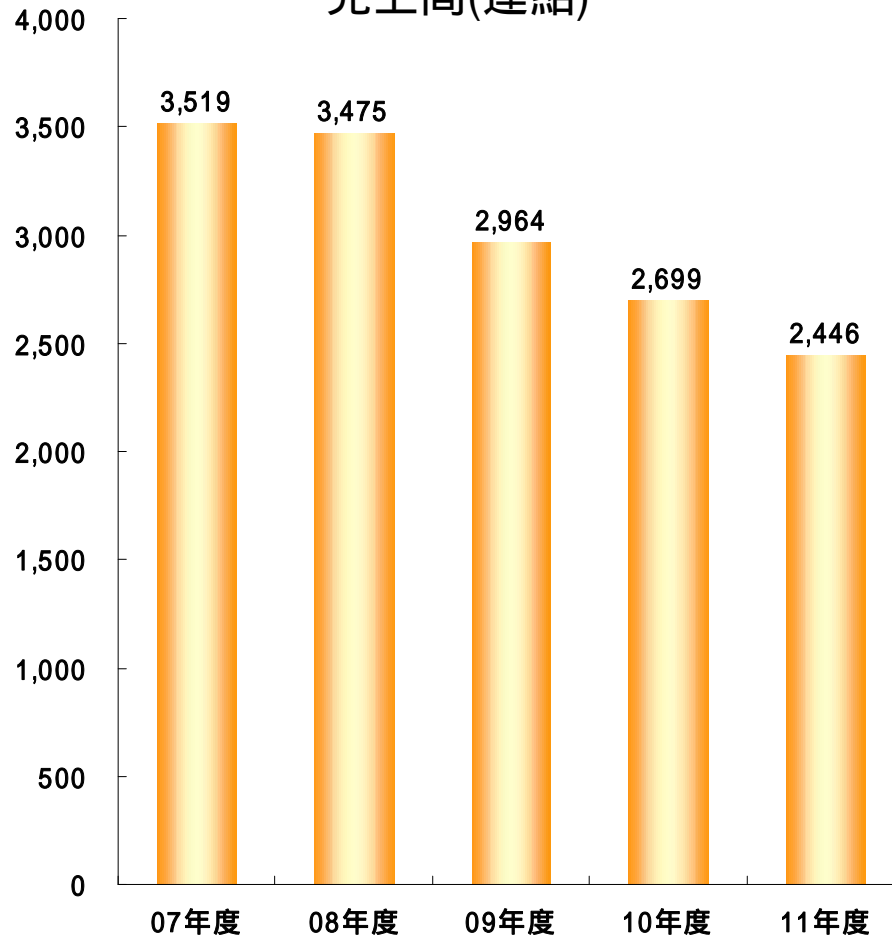
利益配当については2012年3月16日に開催予定の当社定時株主総会に付議する予定であります。

2. 2010年度と2011年度の業績比較

	項目	2010年度	2011年度	前期比
連結	売上高(百万円)	2,699	2,446	- 9.4%
	営業利益(百万円)	110	179	+ 62.6%
	経常利益(百万円)	122	181	+ 47.8%
	当期純利益(百万円)	84	124	+ 47.2%
	1株当たり当期純利益(円)	1,690.55	2,545.71	+ 50.6%
個別	売上高(百万円)	2,149	1,892	- 12.0%
	営業利益(百万円)	109	120	+ 10.9%
	経常利益(百万円)	116	125	+ 8.0%
	当期純利益(百万円)	62	67	+ 9.1%
	1株当たり当期純利益(円)	1,244.72	1,389.16	+ 11.6%

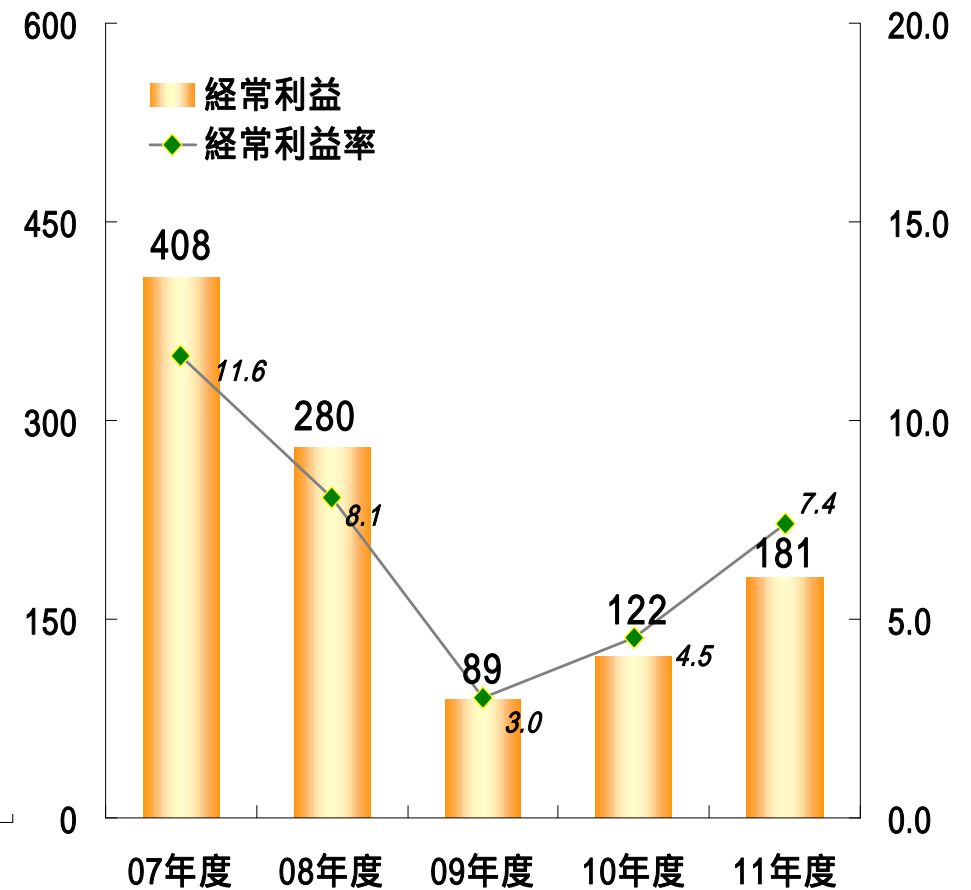
(百万円)

売上高(連結)



(百万円)

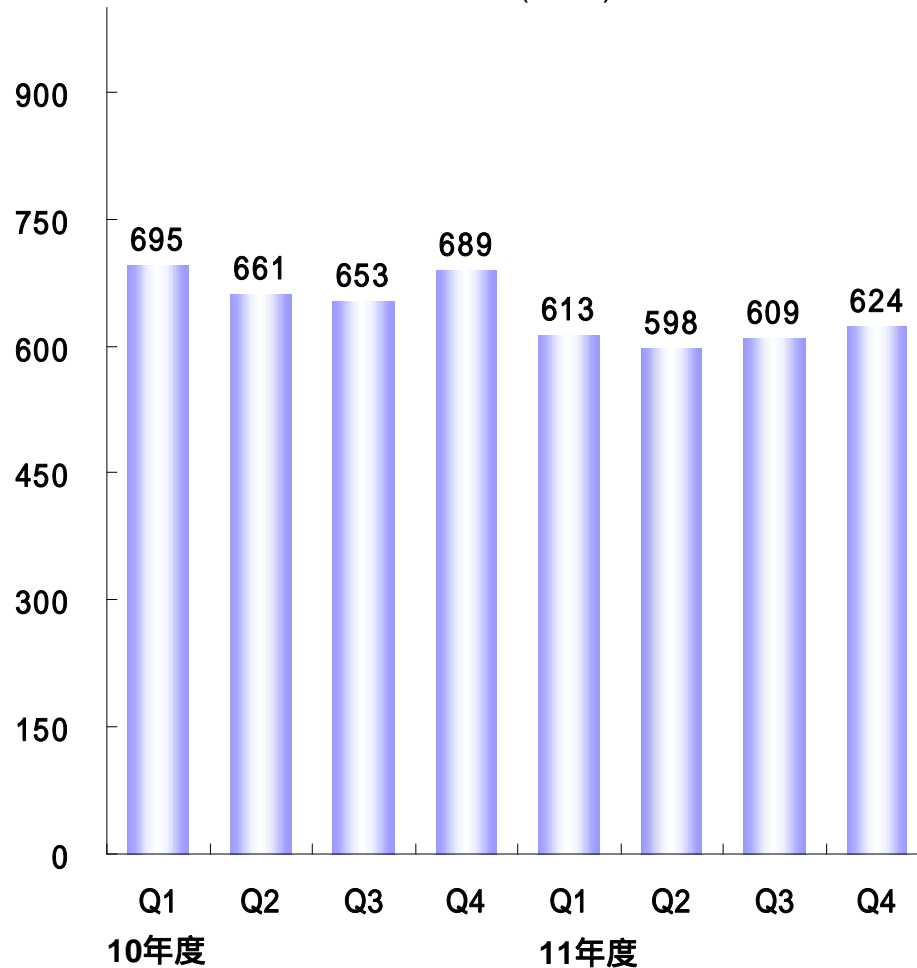
経常利益・経常利益率(連結) (%)



4. 四半期売上高・経常利益の推移

(百万円)

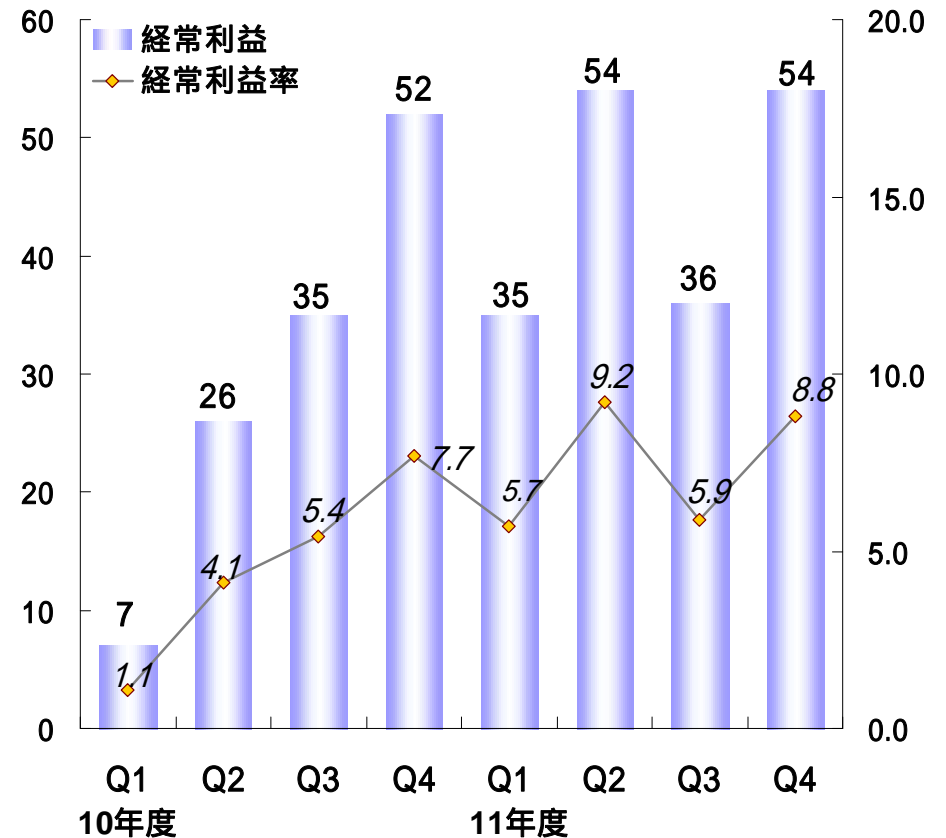
四半期売上高(連結)

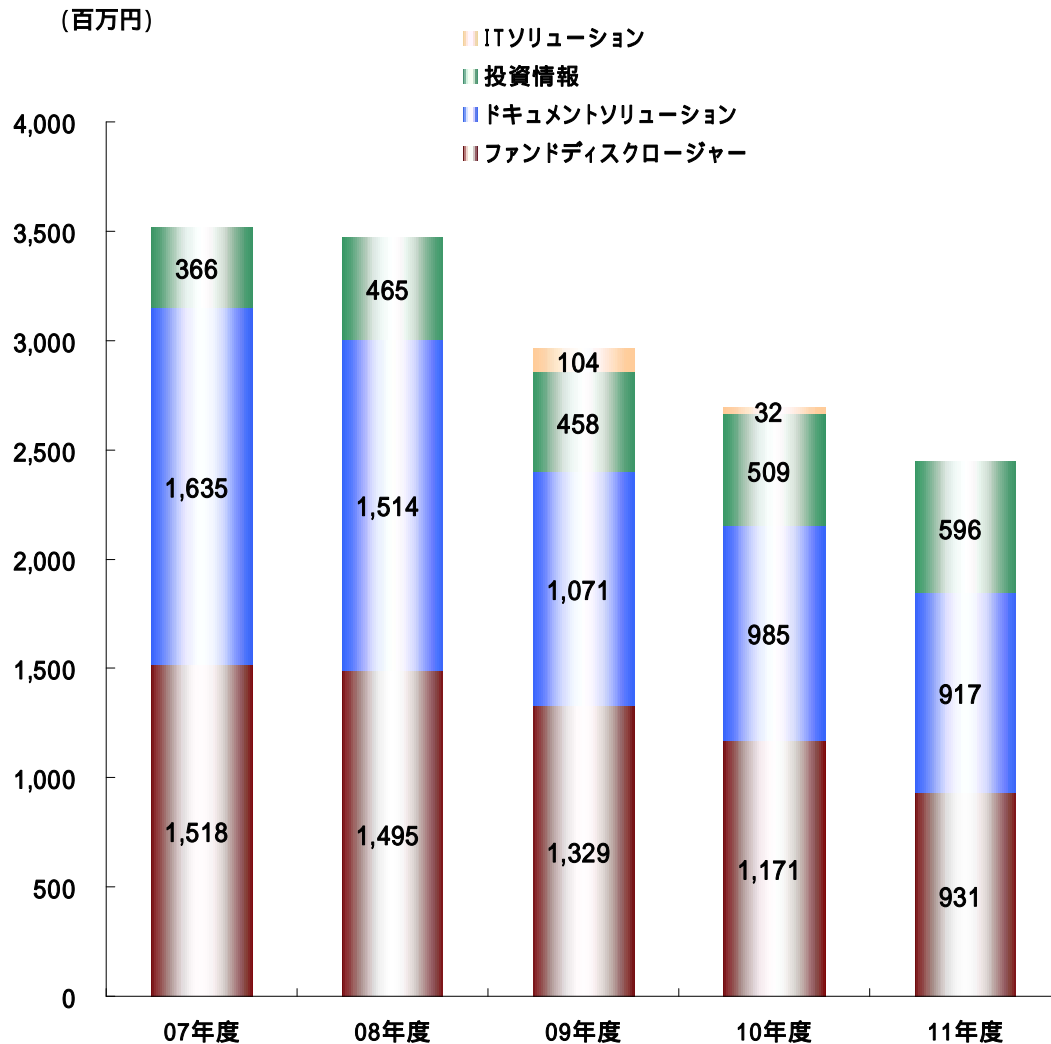


(百万円)

四半期経常利益・経常利益率(連結)

(%)



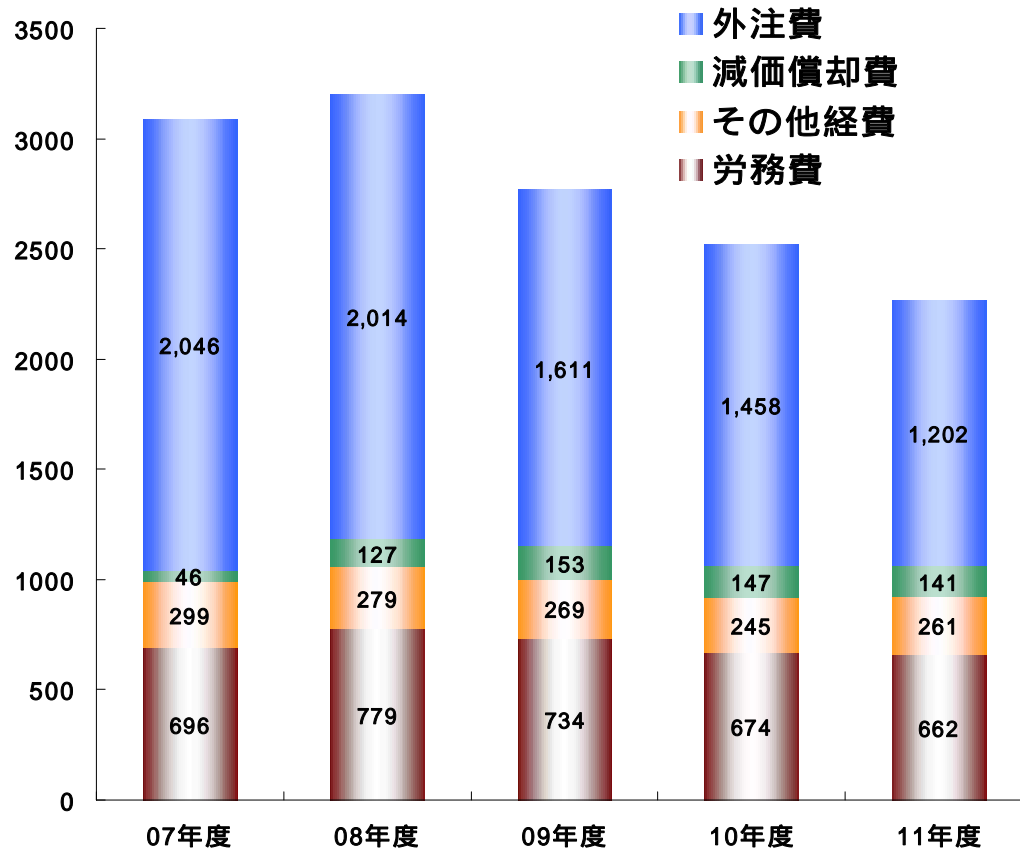


2011年度 事業部門別売上高

- ◆ ファンドディスクロージャー事業
931百万円 (前期比-20.5%)
- ◆ ドキュメントソリューション事業
917百万円 (前期比 -6.9%)
- ◆ 投資情報事業
596百万円 (前期比+17.2%)

2009年、2010年度はITソリューション事業の売上として、それぞれ104百万円、32百万円を計上しております。

(百万円)



2011年度 経費構成

- ◆ 外注費
1,202百万円 (前期比-17.6%)
- ◆ 減価償却費
141百万円 (前期比-4.6%)
- ◆ その他経費
261百万円 (前期比+6.2%)
- ◆ 労務費
662百万円 (前期比-1.7%)

09年および10年に関しては、子会社から外れた株式会社ヴィオを除いた数値となっております。

単位:百万円

項 目	2010年度 (連結)	2011年度 (連結)
営業活動によるキャッシュ・フロー	238	268
投資活動によるキャッシュ・フロー	-70	-49
財務活動によるキャッシュ・フロー	-36	-66
現金及び現金同等物の期末残高	1,149	1,301

キャッシュフローの主要な内訳

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

税引前利益(+171百万)、減価償却費(+141百万)、法人税支払(60百万)

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

システム開発投資(47百万)

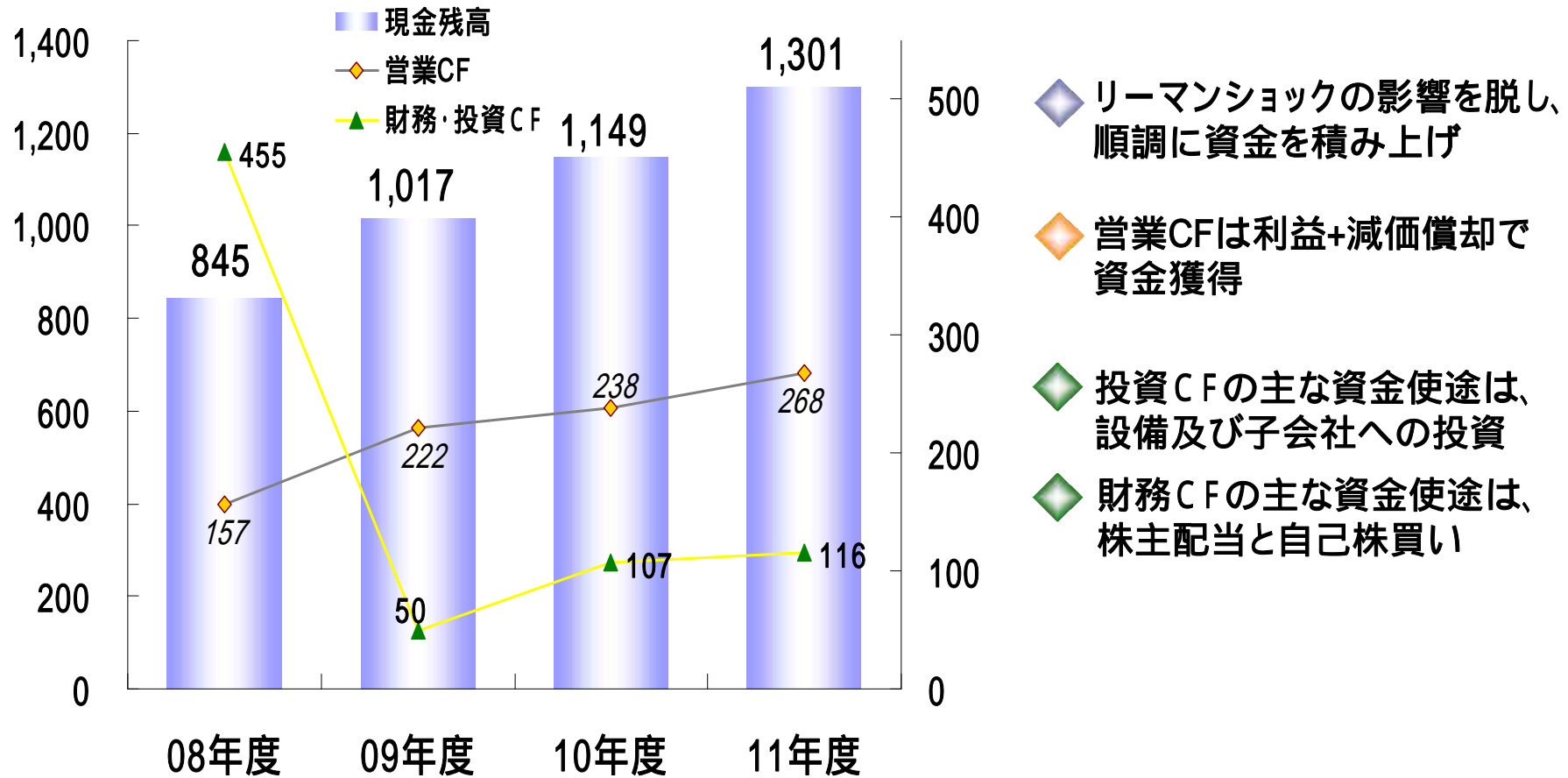
【財務活動によるキャッシュ・フロー】

自己株式取得(41百万)、支払配当金(24百万)

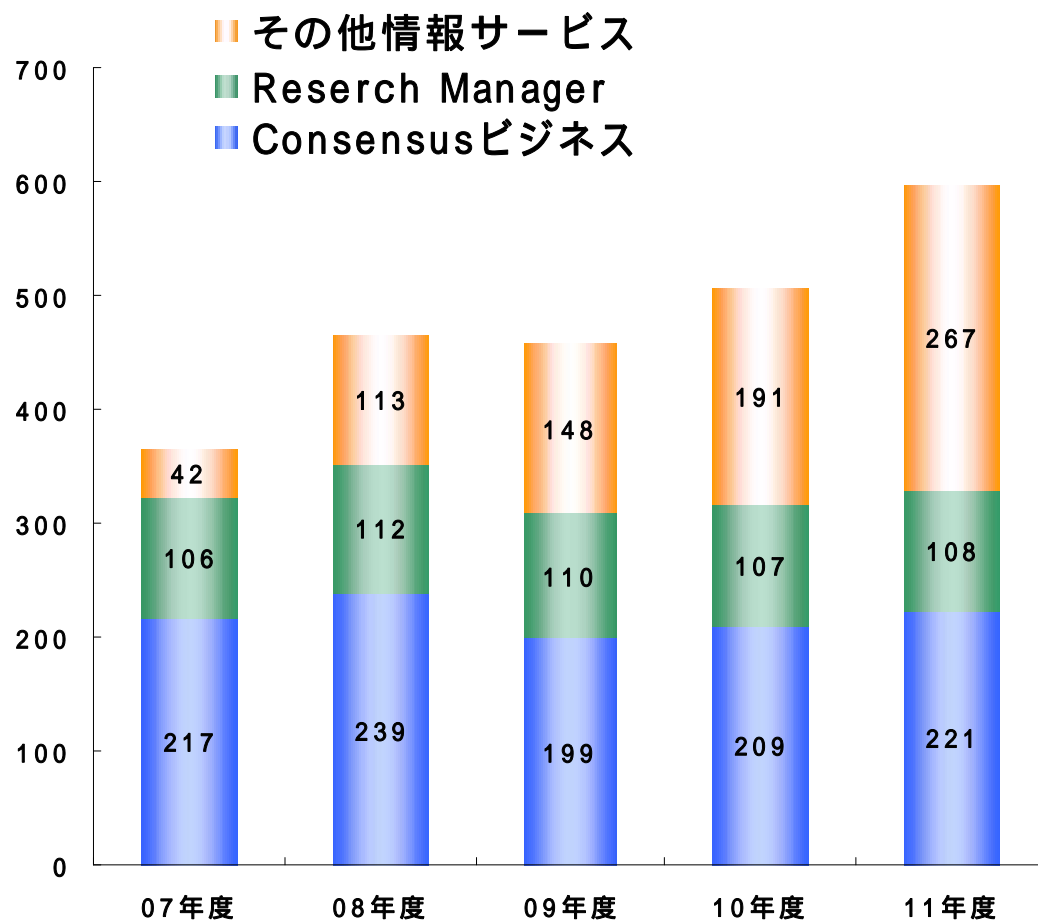
8. 現金預金残高の推移



(百万円)



(百万円)



2011年度 投資情報事業売上構成

- ◆ Consensusビジネス
221百万円 (前期比+5.5%)
- ◆ Research Manager
108百万円 (前期比+0.9%)
- ◆ その他情報サービス
267百万円 (前期比+39.2%)



◆ 売上・利益共に増加

- ・主にネット証券向けに提供していたASPサービスが対面営業を中心とする証券会社やベンダーに採用。
- ・証券会社向けレポート承認フローシステム(ASPサービス)が大手証券に採用。大手証券の機関投資家向けサイトの構築。
- ・子会社キャピタル・アイが順調に業績・利益を拡大。



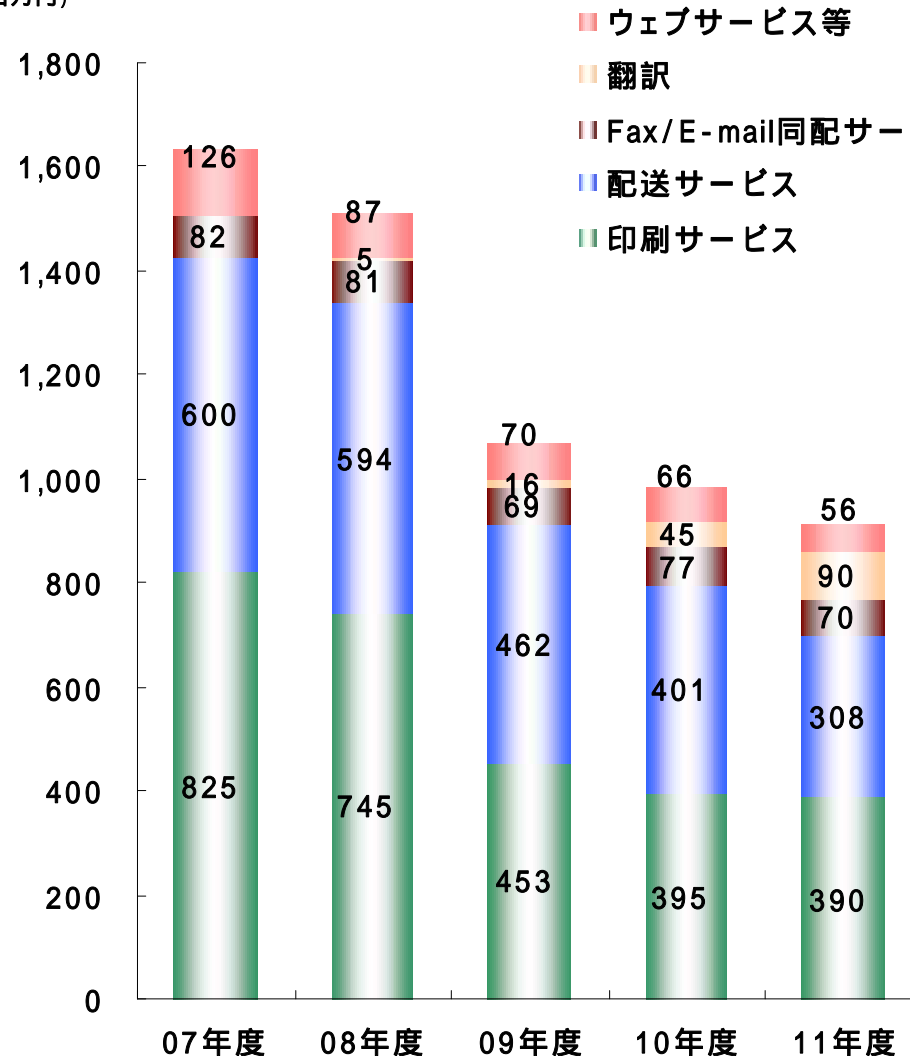
◆ 2012年はコンテンツの拡充による長期的な成長を目指す

- ・情報の提供のみならず、顧客のニーズを徹底的に探り、情報コンテンツとIT技術力を組み合わせたシステム・ソリューション・サービスとして展開を図る。
- ・キャピタル・アイのニュースと当社の投資情報コンテンツを効果的に連携させ、サービスラインナップの強化を目指す。
- ・実績をもとに、証券会社やベンダーに向けた既存サービスの横展開に注力。

11. ドキュメントソリューション事業売上構成



(百万円)



2011年度 ドキュメントソリューション事業売上構成

- ◆ 印刷サービス
390百万円 (前年同期比-1.3%)
- ◆ 配送サービス
308百万円 (前年同期比-23.0%)
- ◆ Fax/E-mail同報配信サービス
70百万円 (前年同期比-8.2%)
- ◆ 翻訳
90百万円 (前年同期比+99.2%)
- ◆ ウェブサービス等
56百万円 (前年同期比-14.4%)

12. ドキュメントソリューション事業の状況

◆ 売上・利益共に減少

- ・金融機関の販促活動や、上場企業のIR活動に関するコストは依然として抑えられている。
- ・顧客のニーズを探りながら、当社の強みを活かしたサービスを模索。
- ・新たなドキュメントソリューションサービスの開発・提供に着手。



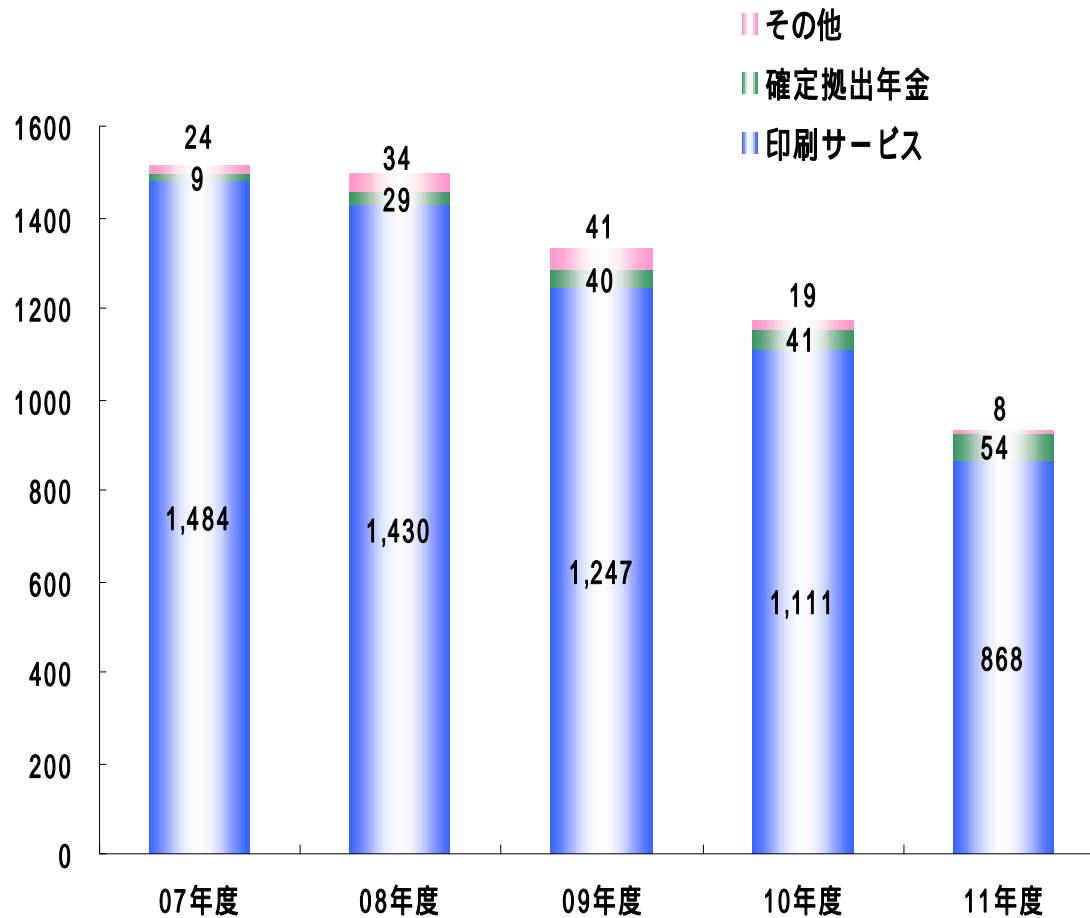
◆ トータルソリューションビジネスのさらなる発展

- ・ドキュメントの生成から管理までのすべての工程におけるサービス提供へ。
 - 確定拠出年金文書管理システム
 - 約款などの自動組版ASPサービス

蓄積されたノウハウを集約、最適なワンストップソリューションを提案

13. ファンドディスクロージャー事業売上構成

(百万円)



2011年度

ファンドディスクロージャー事業 売上構成

◆ 印刷サービス

868百万円 (前期比-21.9%)

◆ 確定拠出年金

54百万円 (前期比+32.5%)

◆ その他

8百万円 (前期比-55.3%)

14. ファンドディスクロージャー事業の状況

◆ 売上・利益共に減少

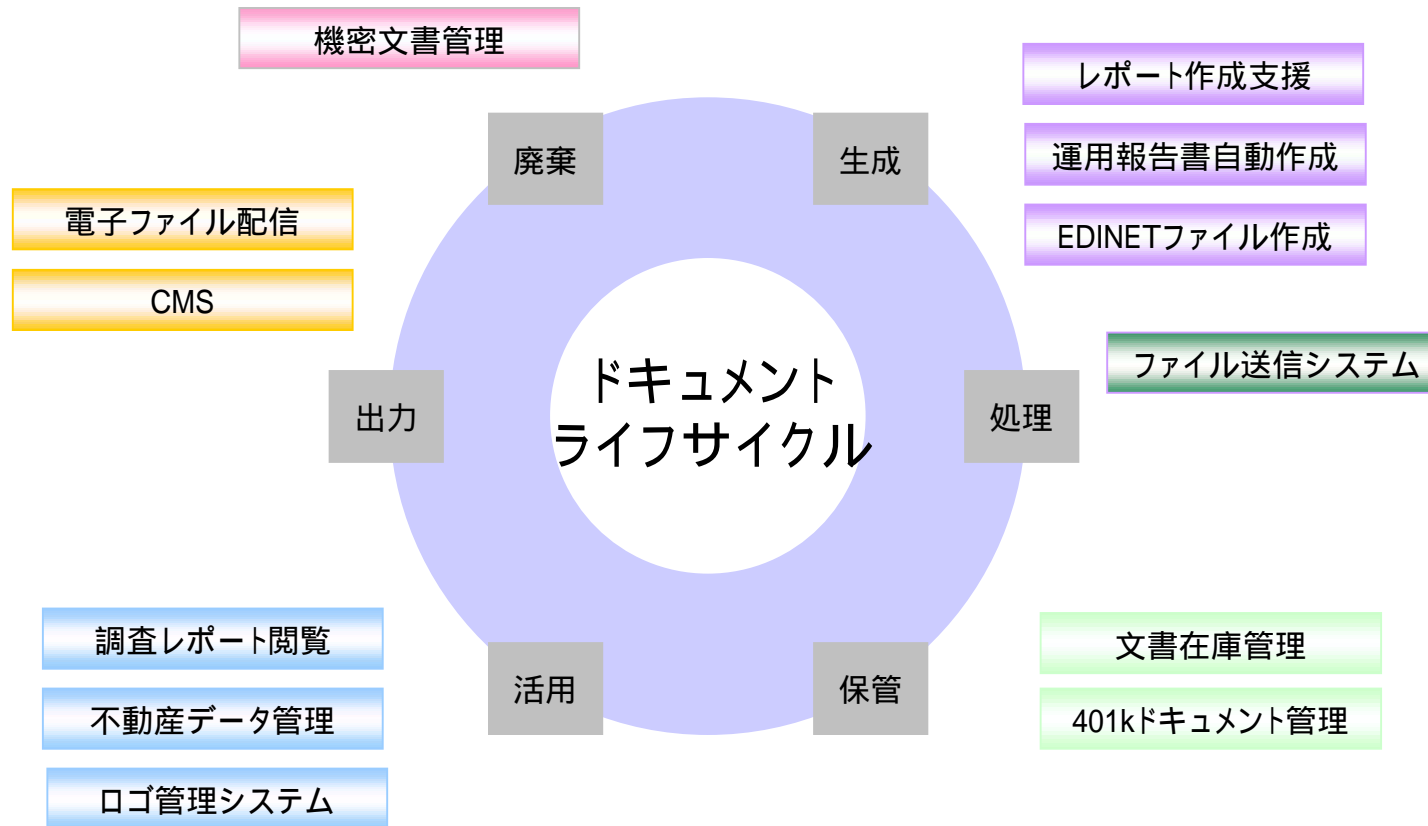
- ・ 2010年7月の制度改正後、投信目論見書のページ数が大きく減少し、ディスクロージャー資料の印刷需要は減少傾向を続けている。
- ・ 2011年3月～6月は震災の影響で売上が大幅減少。
- ・ 既存ビジネス
市場シェア拡大、コスト見直しなどの施策を重点的に行う。
- ・ 新規商材
既存顧客アセットマネジメントに対し、運用報告書印刷を提案。
受注に至る。短納期印刷やシステム案件の提案に注力

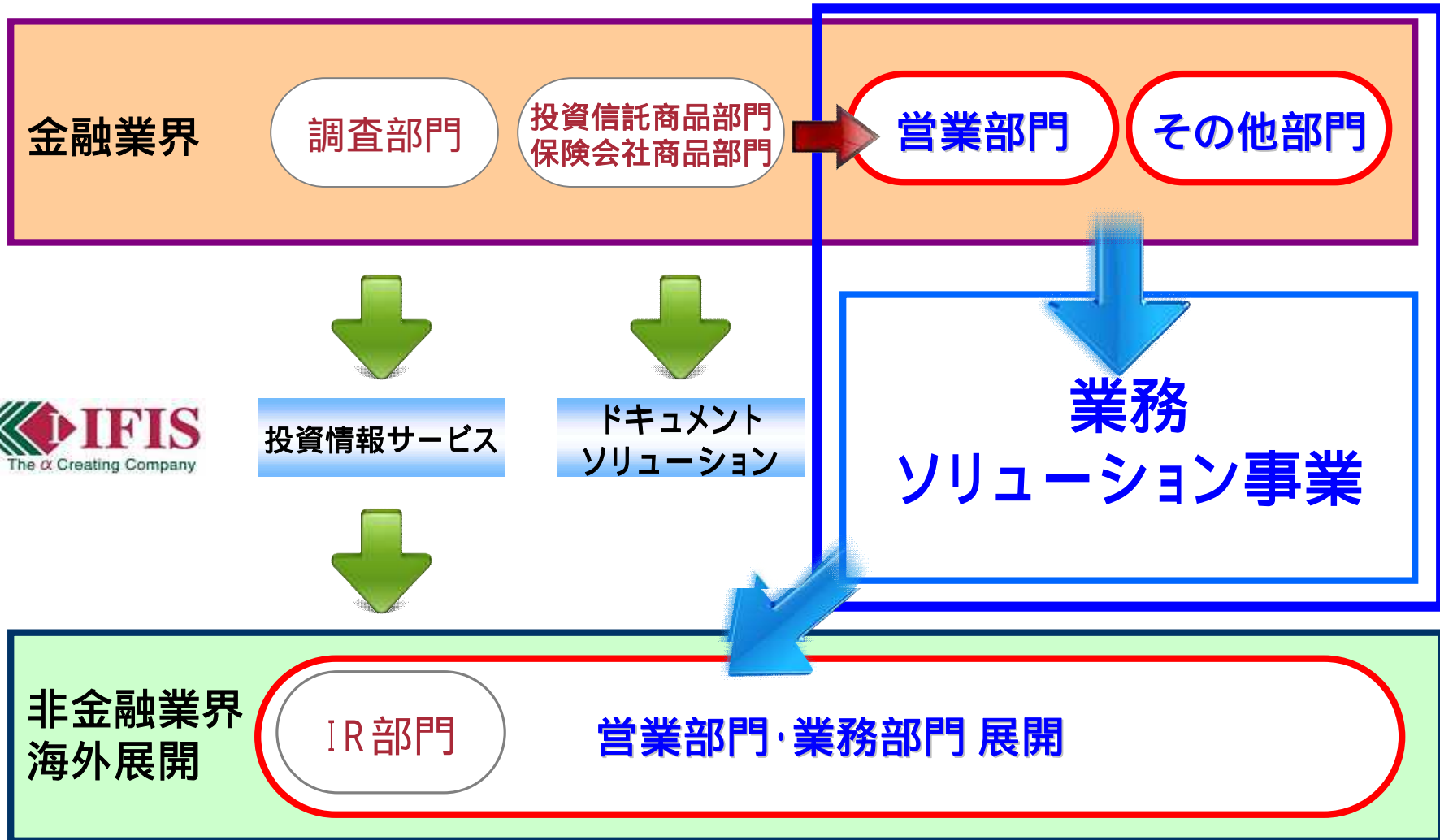
◆ 当社のITノウハウを活用したシステム案件提案へ

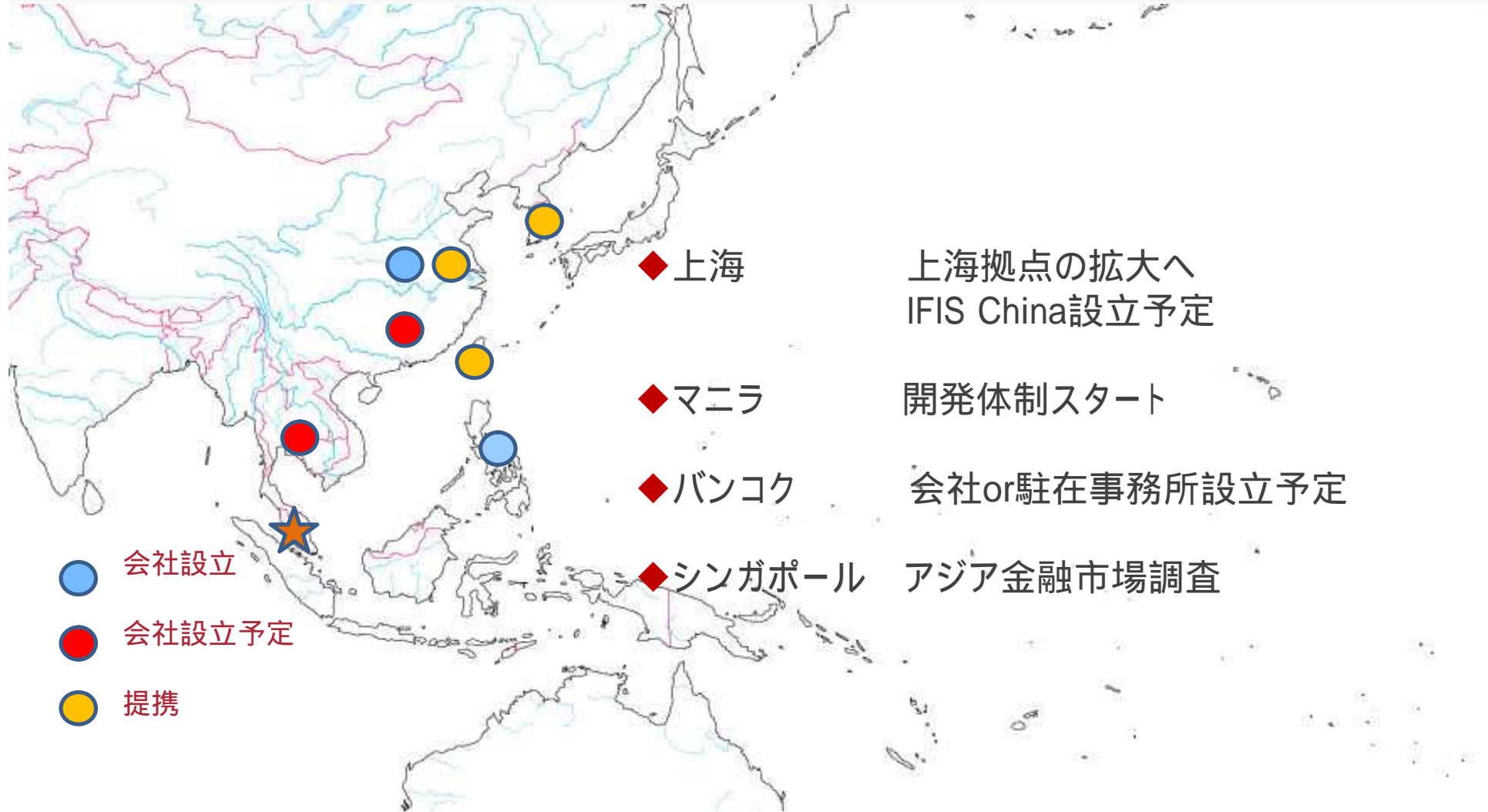
- ・ ITノウハウを活用した新しいシステム案件提案へ
- ・ 優先顧客の選定や実績のある顧客掘り起こし
- ・ 既存顧客のニーズ深堀、新規商材の積極的な提案に最適な体制を整える。

顧客のニーズに沿う価値の提供へ

16年以上にわたり、200社以上の金融機関に対し、ドキュメント・ソリューションを提供してきたことが当社の強みです。またITソリューションの領域においても、数多くの実績があります。







2012年12月期(連結)

項目	2011年度 (実績)	2012年度 (予想)	実績比
売上高(百万円)	2,446	2,600	+ 6.3%
営業利益(百万円)	179	210	+ 17.3%
経常利益(百万円)	181	210	+ 15.9%
当期純利益(百万円)	124	140	+ 12.8%

2012年12月期(個別)

項目	2011年度 (実績)	2012年度 (予想)	実績比
売上高(百万円)	1,892	1,950	+ 3.1%
経常利益(百万円)	125	130	+ 3.4%
当期純利益(百万円)	67	80	+ 18.1%

営業利益(個別)は、開示対象となっておりませんので、記載しておりません。

ご清聴ありがとうございました。